

住まい選び重視する点

リビン・テクノロジーズ調べ



不動産関連の比較査定サイト「リビンマッチ」を運営するリビン・テクノロジーズは11月18日、「いい家の日」（アサツーデイ・ケイ）のADK不動産プロジェクトに合わせて同サイトを利用した20歳以上の男女129人を対象に「関東・関西に居住している」と回答した20歳以上の男女129人を対象に「関東と関西では住宅選びは異なるのか」を調べた。

「住宅購入時、最も重視する点」を見ると、関東は「周辺環境」（19・0%）、「価格」（17・7%）、「駅・バス停からの所要時間」（16・5%）、「所在地」（10・1%）と続いた。

一方、関西では最も重視する点が「価格」（22・0%）となり、「周辺環境」（18・0%）、「駅・バス停からの所要時間」（16・0%）、「売り主の信頼度」（共に16・0%）がそれぞ

る順番となつた。

當するリビン・テクノロジーズは「周辺環境」（19・0%）を最も重視し、「価格」（17・7%）、「駅・バス停からの所要時間」（16・5%）と続いた。

「周辺環境」（19・0%）が最も重視し、「価格」（17・7%）、「駅・バス停からの所要時間」（16・5%）と続いた。

（10・0%）の順番となつた。

また、「最も妥協してよい点」も聞いたところ、関

東では「地盤」（5・1%）、東では「学区」（22・8%）を最も重視し、「価格」（17・7%）、「駅・バス停からの所要時間」（16・5%）、「駅・バス停からの所要時間」（16・5%）と続いた。

関東=周辺環境、関西=価格

「周辺環境」（19・0%）が最多となり、「駅・バス停からの所要時間」「広さ」（共に16・5%）、「間取り」（10・1%）と続いた。関西では「学区」（22・0%）が最も重視し、「価格」（17・7%）、「駅・バス停からの所要時間」（16・5%）と続いた。

（2番目に重視する点）は、「価格」が関東・関西とも最多となった。

「3番目に重視する点」は、「構造・耐震性」（13・9%）、関西で「周辺環境」（13・9%）、「日照・風通し」（13・9%）、「駅・バス停からの所要時間」（10・0%）がそれぞれ最も多くなった。